

みんなのめあて
おもいやり
のある子
かんがえる子
たくましい子

戸田小学校 学校だより

3校連携会
「こどものめあて」
1 正しいきれいな言葉
2 進んであいさつ
3 学習をたいせつに

児童数
401名
1/4 現在

ともだちを **だいじ**にする 戸田っ子

1月号 平成 23年 1月 1日

厚木市立戸田小学校
厚木市戸田5 4 5番地
046 - 228 - 9805

戸田はすばらしい郷土です」

学校長 竹村志保美

新年、あけましておめでとうございます。昨年中は夏の猛暑が続きましたが、保護者や地域の方々のご支援ご協力により、充実した教育活動を展開することができました。深く感謝申し上げますとともに、今年も更なる充実に向けて、教職員一同、一丸となって取り組んでいきたいと存じます。

さて、新年に当たり、子ども達が戸田という郷土に誇りと愛情を持っていただきたいと考え、戸田についてお話ししたいと思います。

戸田地区は、大山と富士山の並んだ姿を見ることができます。厚木市内では相川地区でしか見ることができないと思います。朝・夕の姿や季節毎に変わる雄姿は素晴らしい景色です。

また、戸田の渡しはとて有名です。戸田小に赴任してすぐに「戸田の渡しの碑」を見に行きました。鎌倉時代から相模川を渡るための要衝の地だったのです。その様子を描いた安藤広重の「相州大山道中戸田川之渡」は昇降口に掲げてあります。戸田の渡しの絵は厚木市総合福祉センター6階のホールの緞帳にも描かれています。明治時代までの800年の間、軍事・交通・産業のうえで大切な地点だったのです。昨年、佐伯泰英の時代小説「居眠り磐音江戸双紙」を読んでいるとき、戸田の渡しが出てきました。昔の戸田の人たちは旅人を大切にお持てなしたと思います。きっとその心遣いが現在にもつながっていると思います。戸田地区は地域の人や子ども達を温かい目で包んでいます。人は一人では生きていくことができません。支えられ助けられて生きています。戸田小の子ども達は、大変幸せであると感じています。

最後に、地域や保護者の方々が今年も健康で有意義な年でありますよう祈念いたします。そして、子ども達の笑顔を少しでも多く見られるように、本校の教育活動に参加していただきますようお願い申し上げます。

戸田小校歌 について

作詞 宮澤章二 (埼玉出身) 1919年生 86歳没 (詩人)
作曲 高橋鐵雄 (相模出身) 1938年生 72歳没 (元教師 作曲家)
制定 昭和63年10月

1 相模の流れ 水光り
みどりの庭に 照る望み
にじをくぐる道の
向こうにも 友がいて
たがいに
喜びの手をふる日
厚木 戸田小 あたたかく
いのちの花が 薫り合う

2 豊かな夢を 大山の
すがたのえがく 春と秋
そだつ 知恵と力
鍛えよう たくましく
たがいに
励ましの声かけて
つよく生きぬく 歌あふれ
未来の風が ここに湧く

宮澤章二作「行為の意味」より
「こころ」は
だれにも 見えないけれど
「こころづかい」は 見える
「思い」は 見えないけれど
「思いやり」は
だれにでも 見える
あたたかい 心も
やさしい 思いも
おこないに なって
はじめて 見える
その気持を カタチに！！

作曲 高橋 鐵雄さん (相模出身、元教師、パレッタ作曲多数)
作詞 宮澤 章二さん (埼玉出身、詩人、シングルソングの作詞者)
宮澤章二さんに作詞された校歌は300を越えるそうです。
「行為の意味」の詞は、私たちが常に意識していきたい詩ですね

